



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 大栄環境株式会社 上場取引所 東
コード番号 9336 URL <https://www.dinsgr.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 文雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 井上 吉一 TEL 078-857-6600
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	17,604	-	4,513	-	4,748	-	3,014	-
2023年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,314百万円 (-%) 2023年3月期第1四半期 一百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	30.18	-
2023年3月期第1四半期	-	-

(注) 1. 当社は、2023年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第1四半期の数値及び2024年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	155,423	78,770	50.4
2023年3月期	163,615	78,969	48.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 78,320百万円 2023年3月期 78,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	34.00	34.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	0.00	-	34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	35,085	8.0	7,672	7.3	7,761	5.9	5,007	5.1	50.13
通期	71,037	5.0	16,140	△2.9	16,338	△2.2	10,416	△0.7	104.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	99,892,900株	2023年3月期	99,892,900株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	50,048株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	99,872,551株	2023年3月期1Q	一株

(注) 当社は、2023年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第1四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う行動制限の緩和により、経済活動の正常化に向けた動きが進み、緩やかな回復傾向が続くと期待されます。一方で、ウクライナ情勢の長期化等によるエネルギー・資機材価格の高止まりや金融引き締めによる経済減速等の懸念材料もあり、依然として国内景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは2023年4月に、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」第48条第1項第2号に基づく再資源化事業計画の国内初となる認定を取得しました。環境省が進める循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行の加速化に向けて、資源循環の高度化施策を進めるとともに、排出事業者への資源循環ニーズの掘り起こしを進めました。また、2023年5月には、当社三木リサイクルセンターにおいて、バイオマス資源と様々な廃棄物を混焼する日量440トンの熱処理施設である三木バイオマスファクトリーが稼働開始いたしました。こちらも今後の資源循環の高度化に資する施設であり、早期本格稼働に向けた体制整備を進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は17,604百万円、営業利益は4,513百万円、営業利益率は25.6%、経常利益は4,748百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,014百万円となりました。また、EBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）は5,812百万円、EBITDAマージン（EBITDA/売上高）は33.0%となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（環境関連事業）

「廃棄物処理・資源循環」において、廃棄物受入量は553千トン（前年同期比20.0%増）となりました。これは、昨秋以降の経済回復に伴う受入量の増加傾向が継続しているほか、大型案件及びインフラ開発案件の受注によるものであります。

「土壌浄化」において、汚染土壌受入量は96千トン（前年同期比45.4%減）となりました。これは、前年同期に受注した関東の大型案件が、当第1四半期連結累計期間は減少したこと等によるものであります。

エネルギー・資機材コストは、引き続き高水準であるものの期初想定範囲内で推移しております。また、継続的な内製化によるコスト削減を進めております。

これらにより、売上高は17,121百万円、セグメント利益は4,581百万円となりました。

（その他）

「アルミパレット」においては、アルミ市況が下落基調で推移したことに加え、国内における粗鋼生産の縮小による需要減により、アルミパレットの販売量が減少しました。

「リサイクルプラスチックパレット」においては、流通業界からの需要減により、販売量が減少しました。

これらにより、売上高は482百万円、セグメント損失は28百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は155,423百万円（前連結会計年度末比8,192百万円の減少）となりました。

流動資産は54,823百万円（前連結会計年度末比11,244百万円の減少）となりました。これは主に、現金及び預金が増加し、前連結会計年度末比11,499百万円減少したことによりです。

固定資産は100,230百万円（前連結会計年度末比3,090百万円の増加）となりました。これは主に、機械装置及び運搬具が2,981百万円増加し、それに伴い建設仮勘定が2,201百万円減少したことによりです。機械装置及び運搬具は、主に当社伊賀リサイクルセンターのメタン発酵施設の設置に伴う増加となります。

（負債の部）

当第1四半期連結会計期間末における負債は76,653百万円（前連結会計年度末比7,993百万円の減少）となりました。

流動負債は21,994百万円（前連結会計年度末比4,243百万円の減少）となりました。これは主に、未払法人税等が増加し、前連結会計年度末比1,777百万円減少したことによりです。

固定負債は54,659百万円（前連結会計年度末比3,749百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金が増加し、前連結会計年度末比3,331百万円減少したことによりです。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は78,770百万円(前連結会計年度末比198百万円の減少)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があったものの、配当金の支払いにより利益剰余金が381百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,410	39,911
受取手形及び売掛金	10,089	9,833
有価証券	3,398	3,560
製品	234	186
仕掛品	25	42
原材料及び貯蔵品	273	251
その他	656	1,038
貸倒引当金	△19	△0
流動資産合計	66,068	54,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,571	20,293
機械装置及び運搬具（純額）	12,118	15,099
最終処分場（純額）	7,279	7,003
土地	18,661	18,677
建設仮勘定	20,843	18,641
その他（純額）	2,045	2,056
有形固定資産合計	80,519	81,771
無形固定資産		
のれん	812	763
その他	544	553
無形固定資産合計	1,357	1,317
投資その他の資産		
投資有価証券	3,446	5,661
繰延税金資産	1,177	894
その他	10,668	10,622
貸倒引当金	△29	△35
投資その他の資産合計	15,263	17,141
固定資産合計	97,139	100,230
繰延資産		
株式交付費	407	369
繰延資産合計	407	369
資産合計	163,615	155,423

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,143	2,955
1年内償還予定の社債	1,140	1,140
1年内返済予定の長期借入金	12,743	12,194
未払法人税等	3,010	1,232
賞与引当金	900	548
資産除去債務	48	48
その他	5,250	3,873
流動負債合計	26,237	21,994
固定負債		
社債	2,795	2,380
長期借入金	46,482	43,151
繰延税金負債	60	65
退職給付に係る負債	848	854
資産除去債務	7,585	7,585
その他	637	622
固定負債合計	58,408	54,659
負債合計	84,646	76,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,907	5,907
資本剰余金	12,622	12,650
利益剰余金	59,287	58,905
自己株式	—	△103
株主資本合計	77,817	77,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	642	931
退職給付に係る調整累計額	27	28
その他の包括利益累計額合計	669	960
非支配株主持分	482	450
純資産合計	78,969	78,770
負債純資産合計	163,615	155,423

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	17,604
売上原価	9,900
売上総利益	7,703
販売費及び一般管理費	3,190
営業利益	4,513
営業外収益	
受取利息	36
受取配当金	48
持分法による投資利益	4
為替差益	212
その他	94
営業外収益合計	396
営業外費用	
支払利息	72
株式交付費償却	38
物品売却費用	39
その他	11
営業外費用合計	161
経常利益	4,748
特別利益	
固定資産売却益	5
特別利益合計	5
特別損失	
固定資産売却損	1
固定資産除却損	0
特別損失合計	1
税金等調整前四半期純利益	4,752
法人税、住民税及び事業税	1,577
法人税等調整額	151
法人税等合計	1,728
四半期純利益	3,023
非支配株主に帰属する四半期純利益	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,014

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	3,023
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	289
退職給付に係る調整額	1
その他の包括利益合計	290
四半期包括利益	3,314
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	3,305
非支配株主に係る四半期包括利益	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	環境関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	17,121	482	17,604	—	17,604
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	2	10	△10	—
計	17,129	485	17,614	△10	17,604
セグメント利益又は損失(△)	4,581	△28	4,552	△39	4,513

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価資源リサイクル事業であります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各事業セグメントへ配賦しております。

3. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間の連結調整であります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。